

# 長いもネット適正処理マニュアル Ver.4

- ・ポリエチレン製（慣行）ネット
- ・バイオマスプラスチック製（生分解性）ネット

平成19年10月

帯広市農業技術センター

○長いもネットの野焼きは法律で禁止されています。  
生分解性（バイオマス）ネットも同様に野焼きは  
出来ません。

○長いも茎葉は一般廃棄物、長いもネットは産業廃棄物  
です。分別処理が基本です。

○長いも茎葉の堆肥化、腐熟化は堆肥盤などで行い、  
飛散防止など管理に注意を払いましょう。  
（不法投棄と間違われないようにしましょう！）

○処理方法は

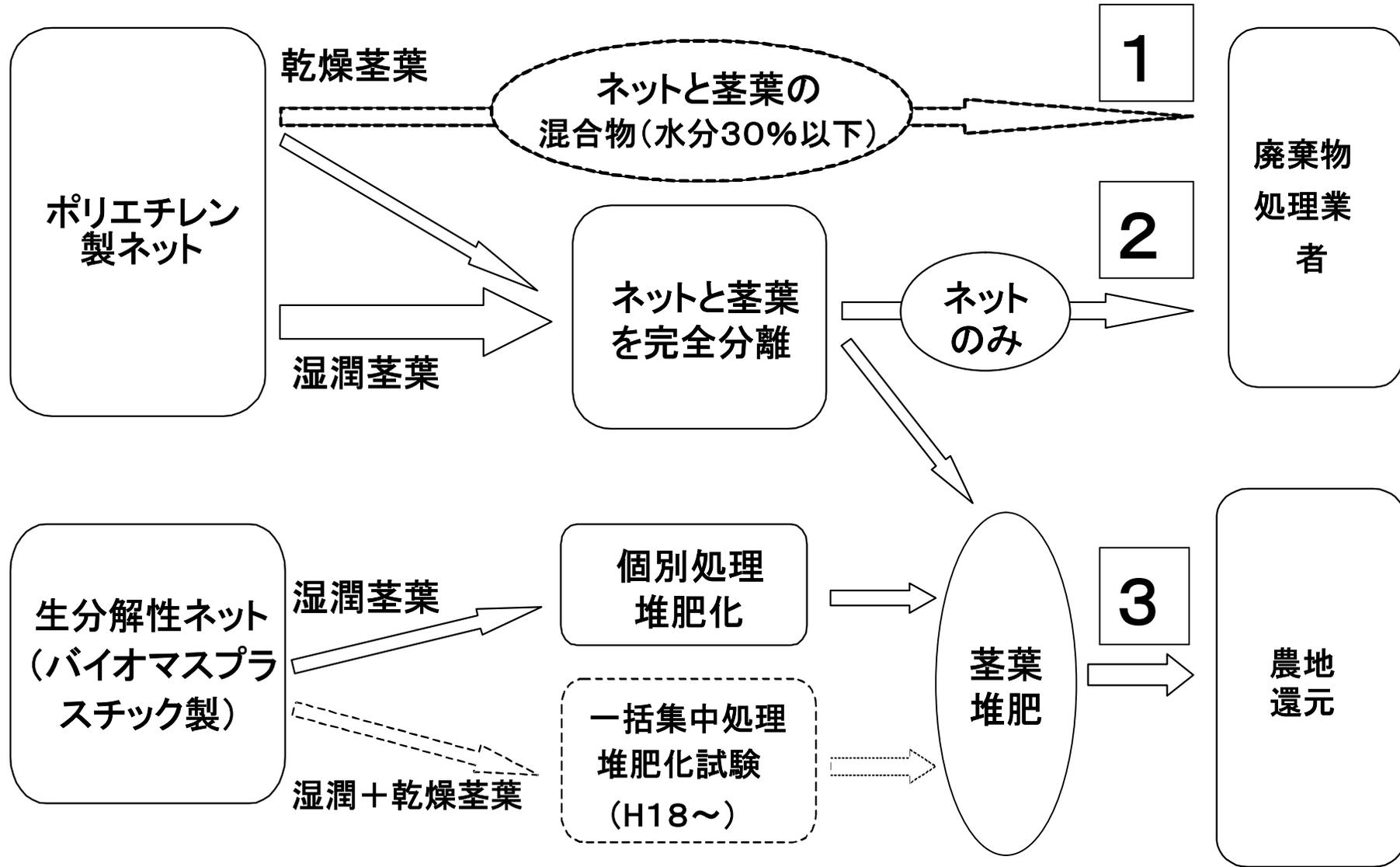
①ネット茎葉混合処理

②ネット完全分離処理

③生分解性（バイオマス）ネット堆肥化処理

のいずれかで 処理方法に合わせて事前準備を！

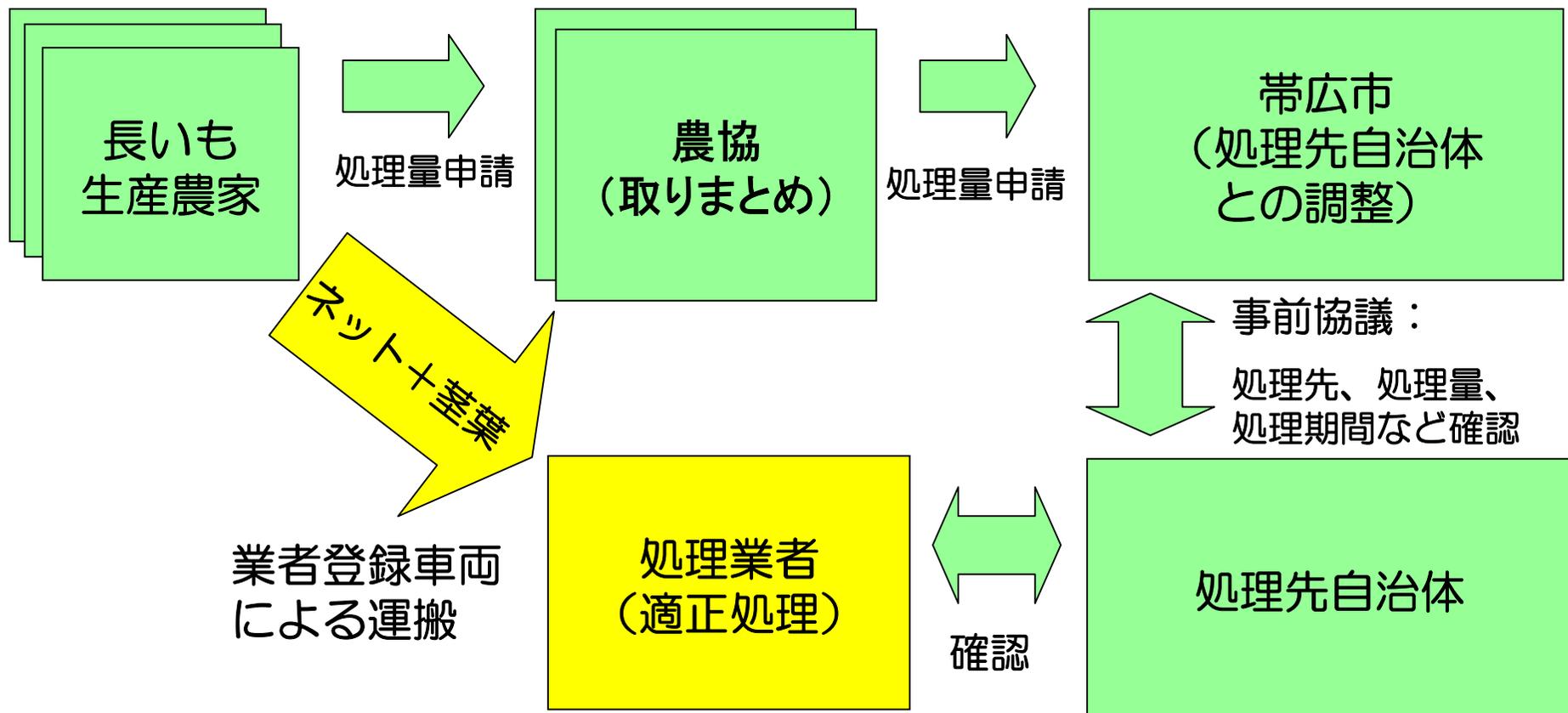
# 長いもネット適正処理フロー図



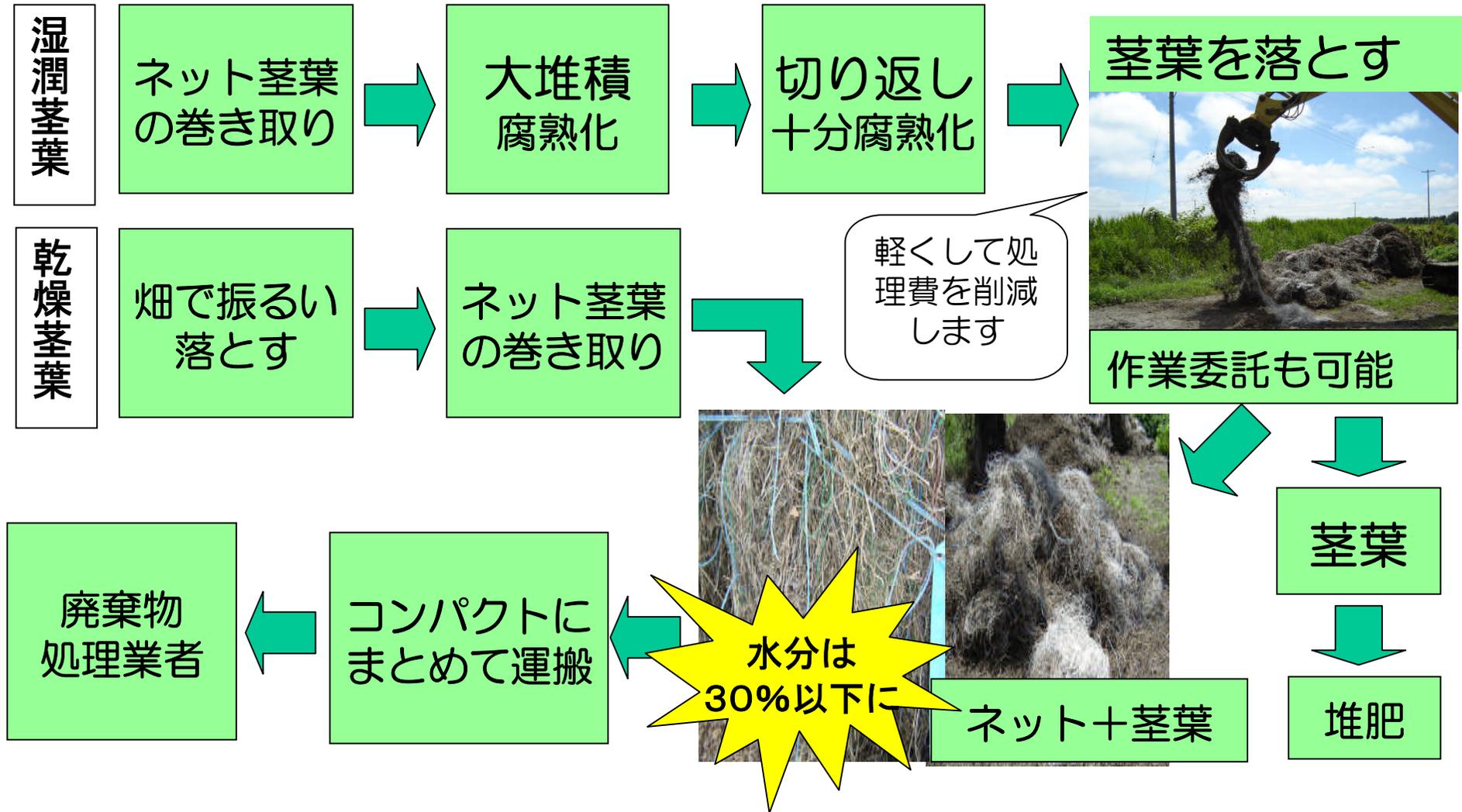
# 1 ネット茎葉混合処理

- ネットと茎葉を完全に分離できない場合の処理です
- 茎葉は市町村を超えて処理する場合、市町村間の事前協議が必要です

## 適正処理の手続き



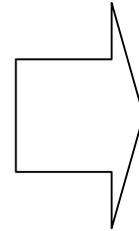
# ネット茎葉混合処理の流れ



## 2 ネット完全分離処理

- 手間はかかるが処理費は安い
- 茎葉の水分が必要
- 巻き取り機を使っても可能

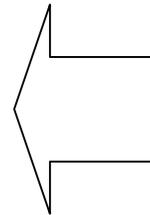
① 茎葉付きネットをポールから降ろし、トップロープを引き抜く



② カッターなどで茎葉ネットを15m程度（3スパン）に切断する⇒切り返しや分離作業が容易になる



④ 防風林の下など湿気のあるところに大堆積する。  
\*堆積管理も適切に！



③ 茎葉ネットをバックホーなどを使って集め小山にする



次  
ページ

⑤ 堆積1年目、切り返しを1回  
行う。茎葉の腐熟は不十分



⑥ 堆積2年目、十分に腐熟が  
進み、ネットが目立つ



⑧ 分離したネットは、しばらく風  
乾させ、軽くしてからふれコンパッ  
クに入れて廃プラとして適正処理す  
る。この程度まで茎葉を落とせばOK！



⑦ フロントローダーでネットを  
つるして強く振り茎葉を落と  
す。さらに手で振るとほと  
んど落とすことができる



### 3 生分解性ネットの堆肥化処理

適期巻取り (黄変期：水分60~75%)

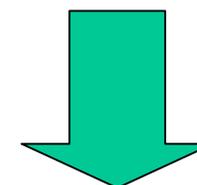
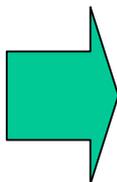


茎葉の水分確保がポイント！

大きく堆積  
(巻き取り直後に実施)



ビニール被覆  
(堆積直後に実施)



切り返し1回  
(翌年5月上旬~6月上旬)

ビニール被覆



ロール外側に残るネットの分解を進めます



冬眠

約1ヶ月

発酵によりロール内部の温度は約70℃まで上昇し、ロールの内側ネットは分解されます (かさは1/2程度になります)

次ページへ

# 切り返し2~3回+ビニール被覆 (7月上旬+8月上旬)



さらに分解を進めます。米ぬかなどの添加、もしくは、発熱中の高温堆肥の中に入れることが最も効果的です。

分解不十分  
(ほ場散布するには、  
ネットがしっかり  
している)

## ほ場に散布



十分に分解  
(軽く引っ張って  
切れる程度)

更に切り返し  
+  
米ぬかの再添加

分解していない一部のネットは  
取り出して、新たに巻き取った  
茎葉に入れて分解させてください

# 生分解性ネット分解促進のポイント

## ① 巻き取り時の茎葉水分を適切に！

- ⇒ \*乾燥した茎葉は温度が上がりません。水分が不足する場合は1ロール100~200L ゆっくり散水して下さい
- \*ロールベアラーで巻き取る場合
    - ・茎葉量が多い場合はゆるめに巻き取ります。
    - ・茎葉が乾燥してる場合は降雨後もしくは、早朝で茎葉が湿った状態で巻き取りましょう。（機械を壊す可能性があります！）

## ② 巻き取る前に！

- ⇒ \*生分解性資材以外の資材（上ロープなど）は抜き取って、廃プラ処理に出してください。
- \*余りネットのかたまりは、ロールの中に入るようにして下さい。分解が遅れます
  - \*十分黄化した茎葉は、つる切りをしないで巻き取ることができます。

## ③ ロールの堆積は寄せて大きな山に！

- ⇒ \*タワラ積みで寄せて大きな山にすることで、ロール外周部の分解を促進します。
- また、ビニール被覆によって全体に高い温度・高い湿度を維持します。

#### ④ 切り返して分解ムラを解消、米ぬかで発酵促進！

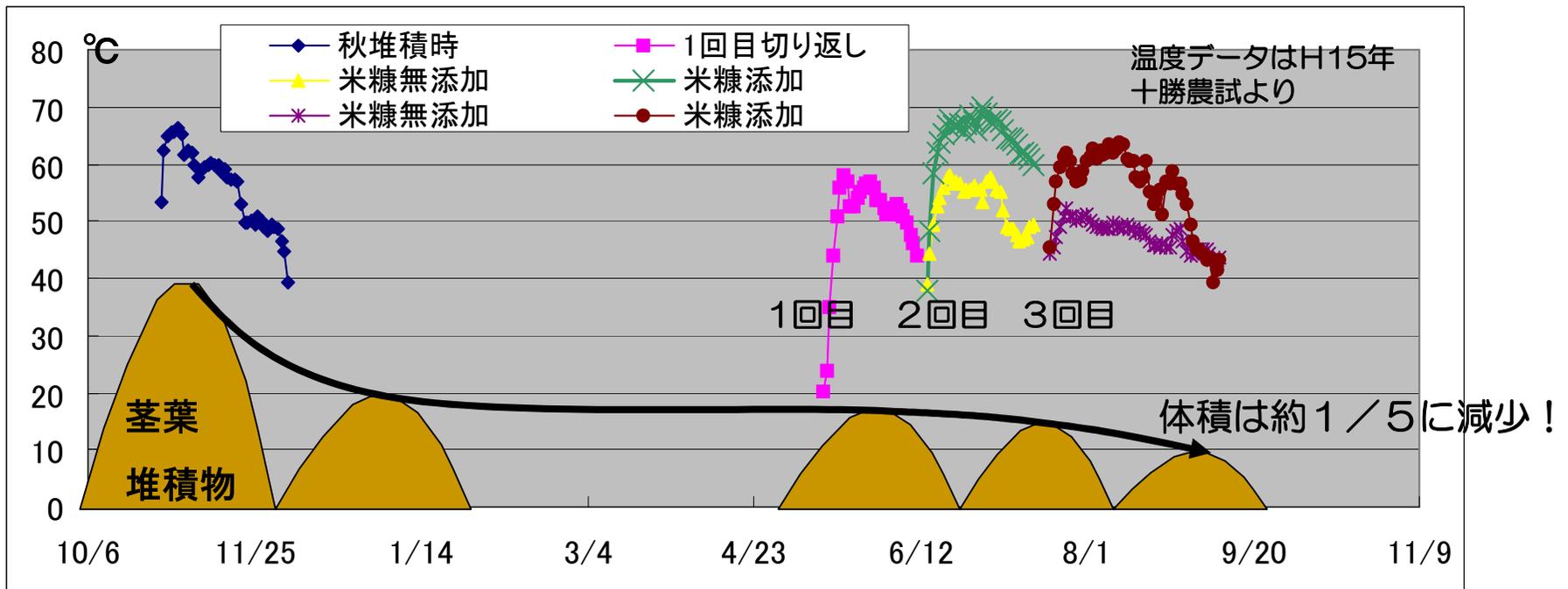
- ⇒
- ・ 堆積物の外側（特にすそ、下側）は温度が低く、分解は遅くなります。切り返しにより、外側を内側に入れ、空気を混入させて分解ムラを解消します。
  - ・ 米ぬかはロール1個当たり10kg程度添加しましょう。

#### ⑤ 温度計でロールの温度を確認しましょう！

- ⇒ 分解の決め手は温度です。ロールの内側20cmで60℃以上になっているかどうか温度計で確認しましょう。



### 温度変化とロールの体積減少パターン



- ⑥
- ・ 1年経過して、分解不十分なネットは切り返す時に取り出して新規に巻き取り・堆積する茎葉の中に入れて分解させてください。温度が下がった茎葉堆肥の中に入れていても分解は進みません。
  - ・ 分解が不十分なものはほ場にすき込まないようにしましょう。

- ⑦ 芯巻きタイプのロールはサイレーヅカッターで切断して下さい
- ⇒
- ・ 芯巻きタイプは中心部が酸欠でサイレーヅ化します。
  - ・ 巻き取り後、サイレーヅカッターで3分割にして堆積します。
  - ・ 切断することで切り返し作業などの作業性を高めることができます。

サイレーヅカッター

